

【熊本県との意見交換会を開催】

6月27日、熊本県庁会議室において、令和元年度の熊本県・九州森林管理局・県内森林管理署の意見交換会を関係者20名が参加のもと開催しました。

会議は熊本署の藤原昭博総括地域林政調整官の司会進行により、開会にあたり井口真輝計画保全部長から「森林経営管理制度と森林環境譲与税がスタートする中、熊本県の森林・林業政策の課題解決に向けて更に民国が連携するようにお願いする」との挨拶に続き、熊本県の高賀英雄森林局長の挨拶がありました。

続いて事前に配布されていた各機関の令和元年度の重点取組事項等について、事前質問に対し補足説明を行い、それに対する質疑応答を行いました。意見交換では、特に熊本県内の民国共通の課題である主伐・再造林に関すること、森林経営管理制度の推進に関すること、木材の安定供給に関すること、シカ被害対策に関することを中心に活発な議論を行いました。

熊本県では、本年度からくまもと林業大学校の開校など新たな政策展開が開始されており、改めて民国が連携・協力することを確認して有意義な意見交換会になりました。



(挨拶する井口計画保全部長)



(意見交換会の様子)